

平成 28 年度

定期監査結果報告書

(第 2 号)

袋井市監査委員

目	次	ページ
平成28年度 定期監査結果報告書（第2号）		
監査の種類、期日及び対象、範囲、方法、結果	-----	1
企画財政部 税務課	-----	2
総合健康センター 地域包括ケア推進課	-----	2
産業環境部 産業振興課	-----	2
農政課	-----	3
環境政策課	-----	3
都市建設部 都市計画課	-----	3
都市整備課	-----	3
建設課	-----	4
水道部 水道課	-----	4
教育委員会 教育企画課	-----	4
おいしい給食課 学校給食センター	-----	5
すこやか子ども課	-----	5
育ちの森	-----	5
学校教育課	-----	6
生涯学習課 図書館	-----	6
出納室	-----	6
監査委員事務局	-----	6

平成28年度 定期監査結果報告（第2号）

1 監査の種類

定期監査

2 監査の期日及び対象

平成29年1月16日	企画財政部 教育委員会 〃 〃	税務課 学校教育課 おいしい給食課 学校給食センター 教育企画課
1月18日	〃 都市建設部 産業環境部	生涯学習課 図書館 都市計画課 環境政策課
1月19日	都市建設部 〃 教育委員会 〃	建設課 都市整備課 すこやか子ども課 育ちの森
1月26日	水道部 総合健康センター	水道課 出納室 地域包括ケア推進課
1月27日	産業環境部 産業環境部	産業振興課 監査委員事務局 農政課

3 監査の範囲

平成28年11月末日現在における予算及び事務事業の実施状況

4 監査の方法

提出された監査資料、関係帳票を確認するとともに、関係職員から予算及び事務事業の実施状況の説明を聴取し、適正かつ効率的に執行されているか監査を実施した。

5 監査の結果

監査の対象となった予算及び事務事業の執行について、おおむね適正に執行されているものと認めた。なお、監査の際に見受けられた軽微な事項については、その都度関係各課に改善又は検討を指導したので記述を省略した。

企画財政部 税務課

監査所見

- 1 市税の収納対策については、「市税等収納対策アクションプラン」に基づき、静岡地方税滞納整理機構とも連携し、収入率の向上及び滞納額の減少に努め、税負担の公平性の維持に取り組んでいる。ただし、現年度課税分については、収入率の伸びが鈍化傾向にあるため、早期に滞納整理に着手し、新たな滞納の発生を抑制する取り組みを強化されたい。
- 2 納税環境の整備については、平成29年度からクレジットカードによる納付を導入する予定である。近年では、クレジットカードによる各種支払いや公共料金等の納付方法が普及してきているため、計画どおり円滑な実施ができるよう十分に準備を行い、納税者の納税環境の充実を図り、収入率の向上と滞納額の縮減に努められたい。

総合健康センター 地域包括ケア推進課

監査所見

- 1 総合相談業務については、保健、予防、医療、介護、福祉の多職種が連携しワンストップサービスに取り組んでいる。スムーズかつ迅速な相談対応ができるよう、連携強化により一層努められたい。
- 2 聖隷袋井市民病院については、平成28年4月から回復期リハビリテーション病床が開設し、病棟の診療環境が整った。ただし、看護師不足により150床全ての病床の稼働はできず、医業収益及び患者数が伸び悩んでいる状況である。指定管理者の社会福祉法人聖隷福祉事業団に対して、さらに医師・看護師等医療スタッフの確保に努めるよう要請し、病院事業経営の健全化に努められたい。

産業環境部 産業振興課

監査所見

- 1 工業用地開発推進事業については、豊沢工業団地整備は平成30年7月末の完成を目指し計画的に事業が進められている。もう1つの小笠山山麓開発については、土地所有者が不明の用地買収問題や、臭気等の課題が生じている。これらの課題を早急に克服し、円滑な事業の実施に取り組まれたい。
- 2 観光振興事業については、「観光基本計画」に基づき、「ふくろい観光ルネッサンス事業」として、観光プランの創出や担い手の育成等新たな事業展開を図り、新規観光客はもとより、リピーターやファンづくりに取り組んでいる。平成27年度末に「袋井市観光案内所」が新たに開所し、主に袋井駅を利用する観光客への案内業務の充実を図っており、現時点で旧観光案内所に比べ約3倍の利用実績となっている。引き続き、関係機関等とも連携し、にぎわいのあるまちづくりに取り組まれたい。

産業環境部 農政課

監査所見

- 1 主要作物（米・メロン・茶）の振興については、それぞれの分野でブランド化や販路の拡大等の取り組みを行っている。引き続き、生産農家を始め関係者と連携し、より一層の消費拡大や市場開拓に努められたい。
- 2 耕作放棄地対策事業については、耕作放棄地の有効利用を図るため、耕作放棄地対策協議会を中心とし、国、県の補助金制度も利用し、その解消に努めている。ただし、平成29年度から補助金制度が改正され、大規模な解消や新規参入者の事業実施が困難になる見込みのため、この対応策について検討し、引き続き、耕作放棄地の再生利用に努められたい。

産業環境部 環境政策課

監査所見

- 1 みつかわ夢の丘公園整備事業については、墓地の一部分譲を開始し1年が経過するが、墓地区画の販売状況が見込みを下回っている。販売促進により一層取り組み、墓地事業の経営安定化に努められたい。
- 2 国本地内の廃家電問題については、行政代執行により廃家電の撤去を行っている。今後は、これにかかった費用について相手業者から確実に回収を行うことはもとより、再発防止に向けた対策に取り組まれない。

都市建設部 都市計画課

監査所見

- 1 「都市計画マスタープラン」の見直し、「住生活基本計画」の策定については、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来等、これからの社会の変化を十分推測し、それに伴う本市が抱える課題解決を含めて十分な検討を行い、誰もが住みやすく魅力あるまちづくりを目指し取り組まれない。
- 2 市営住宅管理事業については、平成29年度から静岡県住宅供給公社による管理代行を行う方針である。導入後は入居者へのサービスの向上はもとより、より効率的に施設管理がされるよう受託業者と十分連携し、取り組まれない。

都市建設部 都市整備課

監査所見

- 1 都市計画道路の整備事業については、児童・生徒の通学路となっている箇所も多く、歩行者の安全性を確保する上でも計画どおり円滑に事業の実施ができるよう努められたい。
- 2 公園施設の維持管理については、本年度中に全ての都市公園の長寿命化計画を策定する予定である。これに基づき、公園の長寿命化対策を計画的に行い、常に市民が安全・安心に利用できるよう努められたい。

都市建設部 建設課

監査所見

- 1 橋梁・道路舗装の長寿命化修繕事業については、道路舗装の「長寿命化修繕計画」を本年度中に策定されたい。橋梁については、先に策定した「長寿命化修繕計画」に基づき、予防的修繕を行うとともに、管理コストの低減や予算の平準化を図られたい。なお、橋梁・道路の日常点検を適切に行い、危険箇所の早期発見に努め、適正な管理に努められたい。
- 2 治水対策については、弁財天川流域で宅地への浸水被害が発生しており、水門、河道や排水機場の整備を行っている。ただし、流域全体としての総合的な取り組みが必要であるため、現在休止状態である「弁財天川流域総合的治水対策推進協議会」の活動を再開するよう事務局である県（袋井土木事務所）へ協議されたい。
- 3 袋井市静岡モデル防潮堤整備事業については、豊沢工業団地整備事業からの発生土の運搬を行っている。発生土の運搬にあたっては、引き続き騒音や振動対策、交通事故防止に努められたい。また、防潮堤の今後の利活用について、地域住民と十分な協議を行い検討されたい。

水道部 水道課

監査所見

- 1 水道事業の経営については、本年度から料金改定を行い、収入増を見込んでいる。ただし、遠州水道受水費については、営業費用の約40%を占めていることから、この低減をすることが課題となっている。引き続き、受水5市町で連携し、県企業局へ受水費の引き下げについて働きかけを行い、経営の安定化に努められたい。
- 2 水道施設の更新については、平成26年度から基幹管路の耐震化事業を計画的に実施している。しかし、基幹管路以外の水道施設の更新計画が未策定のため、今後アセットマネジメントを行い、その結果を踏まえた更新計画を策定し、将来に渡り安心・安全な水の安定供給ができるよう努められたい。

教育委員会 教育企画課

監査所見

- 1 小中一貫教育の検討については、本年度「小中一貫教育基本方針」を策定するよう取り組んでいる。より質の高い教育が子ども達へ提供できるよう、子どもの視点に立って十分検討し、教育環境の整備・充実に努められたい。
- 2 教育施設大規模改修事業については、教育施設全般に経年劣化が見られ、その必要性が高まっている。本年度「小中一貫教育基本方針」が策定され、既存の施設で施設分離型の一貫校とすることから、計画的な大規模改修を行い、子ども達が安全・安心、かつ快適な環境で教育を受けることができるよう努められたい。

教育委員会 おいしい給食課、袋井・浅羽・中部学校給食センター

監査所見

- 1 学校給食費の収納対策については、新たな滞納が発生しないよう学校と連携し収入率の向上に取り組んでいる。ただし、卒業や転校をした者の過年度分の未収金については、収入率が低く、滞納期間が2年以上の滞納額が高額になっている。これについて、私債権等管理条例に基づき、債権整理を行うとともに、適正な債権管理に取り組まれない。
- 2 学校給食については、浅羽・袋井学校給食センターが老朽化してきていることから、今後の整備方針等の方向性を検討されたい。なお、施設の適正な維持管理と、ノロウイルスなどの食中毒防止対策等、調理場の衛生管理徹底を始め、食物アレルギーを持つ児童・生徒へきめ細やかな対応を行い、安心・安全な給食の安定的提供に努められたい。
- 3 学校給食費については、業務の効率化、納付の利便性の向上のためにも、完全公会計化に向けて、検討されたい。

教育委員会 すこやか子ども課

監査所見

- 1 子ども・子育て支援事業については、公立幼稚園での預かり保育の全園実施、認可保育所や小規模保育施設の新設支援等の取り組みを行っているが、未だ待機児童の解消には至っていない。保育サービス施設の整備を加速化するとともに、保育士の確保も図るなど、待機児童の早期解消に努められたい。
- 2 放課後児童クラブ事業については、現在16の放課後児童クラブがあるが、子ども・子育て新制度の施行に伴い、平成31年度までに対象児童が「小学3年生まで」から「小学6年生まで」に拡充される。既に一部前倒しして受入対象児童を「小学6年生まで」としているクラブもあるが、全クラブで「小学6年生まで」の受入ができるよう、クラブ施設の整備や指導員の確保等、計画的に取り組まれない。

教育委員会 育ちの森

監査所見

- 1 子ども支援トータルサポート事業については、各種子ども支援施設を「育ちの森」へ集約し、関係機関の連携の充実を図っている。0歳から18歳までの幅広い子どもの育ちを切れ目なくサポートし、総合的・系統的に相談・支援ができるよう専門相談員の充足及び関係機関との連携強化に努められたい。
- 2 「育ちの森」については、開設後約1年が経過するが、子育てに係る総合的な相談窓口であることをより一層市民へ周知されたい。

教育委員会 学校教育課

監査所見

- 1 学力向上対策事業については、「袋井版学力・学習状況調査」を実施し、児童・生徒の実態を把握、様々な角度から分析し改善に繋げるシステムの構築に取り組んでいる。引き続き、小・中学校9年間を意識した切れ目のない学習指導を目指し、児童・生徒の学力向上に努められたい。
- 2 小・中学校におけるいじめや不登校児童・生徒対策については、本年度「袋井市いじめ防止対策条例」を制定し、教育心理検査Q-Uや中学生を対象としたインターネットパトロール、魅力ある学校づくり調査研究事業等を行い、いじめ等の未然防止や初期対応に向けた実践的な取り組みを行っている。特に、いじめ問題は全国的な社会問題にもなっており、いじめを未然に防止し、児童・生徒が安心して学習し、健全に成長できる環境づくりに努められたい。

教育委員会 生涯学習課、袋井図書館、浅羽図書館

監査所見

- 1 公民館のコミュニティセンター化については、平成30年度を目標に移行する方針であることから、必要な条例改正や施設改修等を計画どおり進め、円滑に移行できるよう関係機関とも十分協議を行い、取り組まれたい。
- 2 図書館については、「袋井市の図書館のあり方」に基づき、設備や機器の改修や建物の長寿命化を進めている。利用者のニーズは、これまでの図書や視聴覚資料の貸し出し業務だけでなく、レファレンス（調査研究に対する相談業務）も増加傾向にある。今後も利用者のニーズに応えられるよう蔵書や資料の充実、データベースの整備を図り、より多くの市民に利用されるようサービスの拡充・向上に努められたい。

出納室

監査所見

- 1 資金運用については、現在歳計現金（会計管理者口座）が一時的に資金不足になった場合、財政調整基金等から繰替運用して対応している。今後、基金残高が減少し繰替運用ができなくなった場合の対応策について慎重に検討されたい。

監査委員事務局

監査所見

- 1 監査により指摘した伝票や契約書類等の事務処理については、職員に情報を周知し、適正な事務が行われるよう努められたい。
- 2 監査基準については、平成29年度から全国都市監査委員会が制定した都市監査基準を適用することになるため、袋井市の監査基準の改正を行われたい。なお、「監査等の実務ガイドライン」は全国都市監査委員会で協議中であることから、今後の動向に注視し、当市の実務ガイドラインについて検討されたい。